

1 この科目の構成について (改行は Alt + Enter)

教科	芸術科	科目	美術Ⅱ	単位	3単位	単位
対象コース	美術コース	コース	対象クラス	2年	6組	
使用教科書	高校生の美術2 (日本文教出版)					
使用副教材	カラー版西洋美術史/カラー版日本美術史					

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について (改行は Alt + Enter)

学習目標：この科目を学習して何を身につけてほしいのか

2年生美術Ⅱでは、①デッサン、②西洋美術史、日本美術史、③彫塑という3つの領域で学習する。

①デッサン：1年次に学習した物の観察の仕方、画材の使い方、基本的な形態の描写を踏まえて、より難易度の高いモチーフを描く。また空間表現や、物と物との関係に留意した制作を目指す。

②美術史：日本美術史、西洋美術史を学習、基本的知識の学習と、鑑賞眼を養い、各時代、地域の美術を理解する。

③彫塑：年間1回実習する。全方向からのデッサン力を養い、形の構造を理解する

学習内容：この科目で学習する大まかな内容

①デッサン：モチーフ個々の描写から発展して、モチーフ同士の関係、床面との関係を観察し、空間を意識する。物の構造的な把握。

②美術史：西洋美術史、日本美術史の流れを理解し、各時代、地域の美術の特徴を知る。

③彫塑：「首像」をテーマに、彫塑用粘土を使って制作する。

学習方法：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか

(1) 学校

デッサンと彫塑は主に授業時間内で実習し、放課後等、課外時間も有効に使って学習する。日本美術史、西洋美術史は、授業内で小テストを実施する。

(2) 家庭

日本美術史、西洋美術史は、自宅での予習、復習を確実にし、知識の定着を目指す。

3 この科目の評価方法について (改行は Alt + Enter)

評価方法：何を使って評価するのか

①デッサン、③彫塑は主に完成作品で評価する。技能的、創造的に優れた作品を評価するほか、完成するまでの過程、取り組みの姿勢を見る。各自の力量に合わせた努力後、熱心さ等を加味し、平常点として評価に加える。1. 2回考査はデッサンの実技試験。

②日本美術史、西洋美術史は、主に定期考査で評価する。考査は授業内容から出題される確認テストで、その得点によって理解の度合いを計る。また、授業中の態度、課題提出状況等を平常点として加える。

評価における定期考査の割合

40 %

4 この科目の評価の観点について (改行は Alt + Enter)

評価の観点：この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか

(1) 関心・意欲・態度

課題に取り組む意欲、態度

(2) 思考・判断

デッサンでの総合判断力、色彩論・図法・美術史の知識を応用する力

(3) 技能・表現




デッサン力、色彩感覚、表現力

(4) 知識・理解

日本美術史、西洋美術史の基礎知識の習得と理解

5 この科目の学習計画について (改行は Alt + Enter)

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点				CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×
1	4 ～ 5	■「静物デッサン」	■「静物デッサン 白・黒モチーフ」 (1 課題16時間・2 課題で32時間) B3 画用紙に鉛筆 セットモチーフ5セッ ト ◇白いモチーフと黒いモチーフを交互描 く。1 課題約14時間。合計約28時間。 トーンの幅を広げる・空間を意識する	●	●	●	●	
1	5	■「第1回考査静物デッサン」	■「第1回考査・静物デッサン」 (2時間) 配布モチーフ3点～4点 B3 画用紙に鉛筆デッサン	●	●	●	●	
1	6 ～ 7	■「第2回考査・静物デッサン」	■「第2回考査・静物デッサン」 (2時間) B3 画用紙 配布モチーフ 2, 3年で共通の課題で実施	●	●	●	●	
2	9	■「第3回考査・デッサンコンクール」	■「第3回考査・デッサンコンクール」 (2時間) A3 画用紙 物を持つ手のデッサン 全学年で共通の課題で実施	●	●	●	●	
2	10	■「彫塑・石膏像模刻」 	■「彫塑・石膏像模刻」(30時間) 彫塑用粘土10キロ使用 石膏像(面)を模刻 立体的な把握力、デッサン力の強化	●	●	●	●	
2	11	■「日本美術史」 	■「日本美術史」(7時間) 古墳・飛鳥・奈良・平安・鎌倉 室町・桃山・江戸・近代・現代における 絵画、彫刻、建築、工芸の歴史 カラー版 日本美術史(美術出版社)使用 道德教育を実施	●	●	●	●	
2	11	■「第4回考査・日本美術史筆記試験」 	■「第4回考査・日本美術史筆記試験」 (1時間) 11月まで学習した日本美術史の理解度を 確認する筆記テスト	●	●	●	●	

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点				CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×
2	12	■「石膏デッサン」	■「石膏デッサン」(20時間) 木炭紙大画用紙に鉛筆 または木炭紙に木炭 ブルータス・マルス・ヘルメス・ガッタメラータ	●	●	●	●	
3	1	■「人物デッサン」	■「人物デッサン」(18時間) 木炭紙大画用紙に鉛筆 モデル2名 座りポーズ、服装はTシャツと短パン	●	●	●	●	
3	1	■「西洋美術史」  	■「西洋美術史」(10時間) 原始・古代オリエント・ギリシア・ローマ・中世・ルネサンス・ バロック・ロココ・ 近代・現代における絵画、彫刻、建築、工芸の歴史 カラー版 西洋美術史(美術出版社)	●	●	●	●	
3	2	■「第5回考査 西洋美術史筆記試験」 	■「第5回考査 西洋美術史筆記試験」(1時間) 西洋美術史の理解度を確認するテスト	●	●	●	●	

【SDGsの各ターゲットについて】

ちょっとだけ詳しく内容を知りたい方は、アイコンをクリック



【道徳教育について】

高校の道徳教育についてちょっとだけ知りたい方はアイコンをクリック



※FSVに接続してる場合のみ

下のアイコンは、該当する「学習の内容」の場所に
コピーしてご使用下さい

SDGsターゲットアイコン



道徳教育アイコン



下のアイコンは、該当する「学習の内容」の場所に
コピーして下さい

SDGsターゲットアイコン



道徳教育アイコン